

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察注意報について（送付）

このことについて、令和元年度（2019年度）病虫害発生予察注意報第2号を公表しましたので、送付します。

注 意 報

令和元年度（2019年度）病虫害発生予察注意報第2号

農作物名 普通期水稻（6月中旬以降の移植）

病虫害名 トビイロウンカ

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 7月下旬以降
- 3 発生程度 多
- 4 注意報発表の根拠

- (1) 7月17日～19日に県内の6月中旬以降移植の普通期水稻32地点で払い落とし調査を行った結果、10株当たり成幼虫数は、0.15頭と過去10カ年の平均（0.04頭）に比べてやや多かった（表1、図1）。発生ほ場率は25.0%と過去10カ年の平均（7.5%）に比べて高かった（表1、図1）。
- (2) 6月中旬移植の県予察ほ（生産環境研究所:無防除）における7月下旬の10株当たり成幼虫数は、3.7頭と過去10カ年の中で3番目に多い（表2）。
- (3) 7月1日～3日、7月14日にトビイロウンカのまとまった飛来があり、6月第3半旬から7月第4半旬における予察灯のトビイロウンカの累積誘殺数は92頭（平年40.6頭、前年5頭）で平年より多い（図2）。
- (4) 成虫および若齢幼虫が確認されたことから、7月1日及び7月14日の飛来個体が定着していると考えられる（表1）。
- (5) 福岡管区气象台が7月24日に発表した九州北部地方3か月予報によると、8月～10月の気温は平年並か高い予想であり、トビイロウンカの増殖に好適な条件である。

5 防除対策

- (1) 7月1日及び7月14日の飛来個体を対象とした各地域の予想される防除適期（幼虫ふ化）は、表3のとおりである。ほ場での発生状況を確認し、本田防除を行う。今後の飛来状況や気象条件によっては、防除適期がずれる可能性があるため、最新の防除適期については防除所のホームページ（<http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/>）で確認する。
- (2) トビイロウンカは増殖率が高いため、現在は低密度のほ場でも8月下旬以降には高密度となり、坪枯れ被害を引き起こす恐れがある。定期的に発生量を確認し、要防除



水準を超えた場合は、ただちに防除する（要防除水準：7月中旬～8月上旬（2頭/10株）、8月中～下旬（10頭/10株）、収穫30日前（30頭/10株）。

- (3) トビイロウンカは、水稻の株元近くに寄生しているため、粉剤及び液剤は、株元に付着するように散布する。
- (4) トビイロウンカは、イミダクロプリド剤やBPMC剤に対する感受性が低下している。（平成30年3月14日付技術情報第14号http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/H29/yosatu/180314gi_jyutu.pdf参照）ので、防除に使用する薬剤の選定には注意する。
- (5) 飼料用米等の多肥栽培や栽培期間の長い品種では、多発する傾向があるので注意する。
- (6) 農薬を使用する際は、必ずラベルなどで使用方法を確認し、登録がある農薬を使い、収穫前使用日数や使用回数、希釈倍数等を遵守する。また、ミツバチや魚介類など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行なうなど、危害防止に努める。

表1 トビイロウンカ払い落とし調査結果

10株当たり虫数

地点名	成虫				幼虫			計
	長翅♂	長翅♀	短翅♂	短翅♀	老齢	中齢	若齢	
熊本市画図1	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本市画図2	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本市中無田1	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本市中無田2	0	0.2	0	0	0	0	0	0.2
熊本市富合町新1	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本市富合町新2	0	0	0	0	0	0	0	0
宇城市松橋町1	0	0	0	0	0	0	0	0
宇城市松橋町2	0	0	0	0	0	0	0	0
玉名市北牟田1	0	0	0	0	0	0	0	0
玉名市北牟田2	0	0	0	0	0	0	0	0
玉名市横島1	0	0	0	0	0	0	0	0
玉名市横島2	0	0	0	0	0	0	0	0
山鹿市南島1	0	0	0	0	0	0	0	0
山鹿市南島2	0	0	0	0	0	0	0	0
山鹿市鹿本1	0	0	0	0	0	0	0	0
山鹿市鹿本2	0	0	0	0	0	0	0	0
菊池市赤星1	0	0	0	0	0	0	0	0
菊池市赤星2	0	0.2	0	0	0	0	0	0.2
大津町新1	0	0	0	0	0	0	0.6	0.6
大津町新2	0	0	0	0	0	0	0	0
嘉島町下仲間1	0	0	0	0	0	0	0	0
嘉島町下仲間2	0	0	0	0	0	0	0	0
八代市高田1	0	0	0	0	0	0	0	0
八代市高田2	0	0	0	0	0	0	1.8	1.8
八代市鏡町1	0	0	0	0	0	0	0.2	0.2
八代市鏡町2	0	0	0	0	0	0	0	0
氷川町1	0	0	0	0	0	0	0.4	0.4
氷川町2	0	0	0	0	0	0	0.6	0.6
芦北町花岡1	0	0	0	0	0	0	0	0
芦北町花岡2	0.2	0.2	0	0	0	0	0	0.4
平均(32ほ場)	0.01	0.02	0	0	0	0	0.12	
	成虫 計			0.03	幼虫 計		0.12	
計(成虫・幼虫)	0.15							
平年	0.04							
発生ほ場率	25.0%							
平年の発生ほ場率	7.5%							

注1) 1ほ場につき、50株調査

注2) 計はラウンドの関係で一致しない



本注意報は、病害虫防除所ホームページに掲載しています。

「<http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/>」

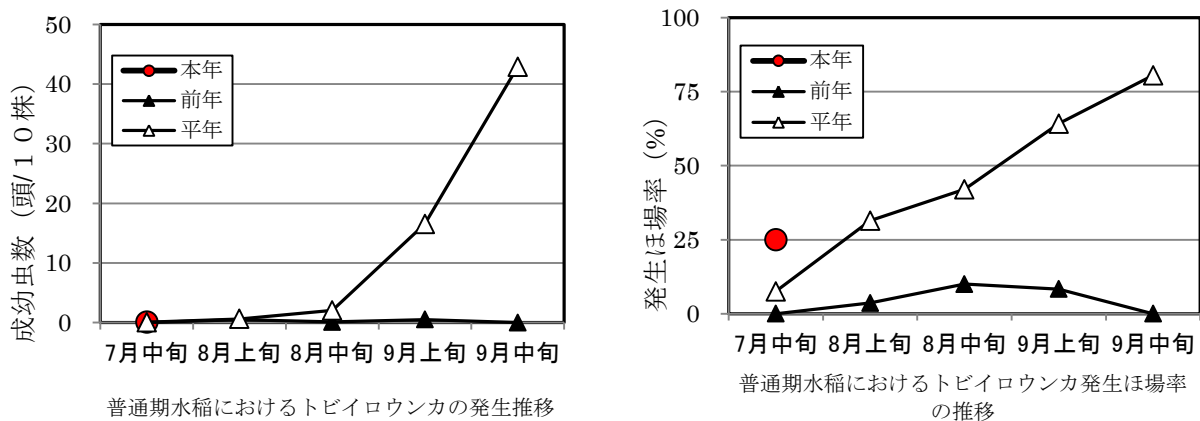


図1 普通期水稻での調査結果（左：成幼虫数、右：発生ほ場率の推移）

表2 7月下旬における県予察ほ（6月中旬移植、無防除）での10株当たり寄生成幼虫数

年	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	本年
成幼虫数	18.2	0.8	0	0	0	19.5	0	1.0	-	0	3.7

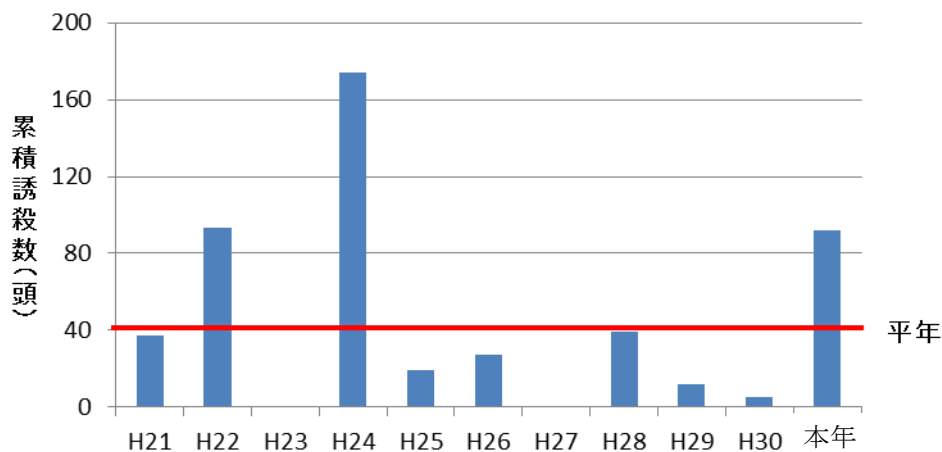


図2 予察灯におけるトビイロウンカの累積誘殺数（6月第3半旬から7月第4半旬）



表3 予想されるトビイロウンカの防除適期^{注)}
(7月1日飛来)

地点	防除適期 ^{注)} (第一世代幼虫)	防除適期 ^{注)} (第二世代幼虫)
熊本	7月21～27日	8月18～24日
三角	7月22～28日	8月19～25日
岱明	7月21～27日	8月18～24日
鹿北	7月23～29日	8月23～29日
菊池	7月22～28日	8月20～26日
阿蘇乙姫	7月26～8月1日	8月30日～9月5日
甲佐	7月22～28日	8月20～26日
八代	7月22～28日	8月19～25日
水俣	7月22～28日	8月20～26日
人吉	7月22～28日	8月22～28日
本渡	7月23～29日	8月21～27日

(7月14日飛来)

地点	防除適期 ^{注)} (第一世代幼虫)	防除適期 ^{注)} (第二世代幼虫)
熊本	7月31日～8月6日	8月28日～9月3日
三角	7月31日～8月6日	8月29日～9月4日
岱明	7月31日～8月6日	8月29日～9月4日
鹿北	8月2～8日	9月3～9日
菊池	8月1～7日	8月30日～9月5日
阿蘇乙姫	8月5～11日	9月11～17日
甲佐	8月1～7日	8月30日～9月5日
八代	7月31日～8月6日	8月29日～9月4日
水俣	8月1～7日	8月30日～9月5日
人吉	8月1～7日	8月31日～9月6日
本渡	8月2～8日	8月31日～9月6日

注)・7月1日、7月14日を起点として、各地点のアメダスデータ平均気温(7月22日までは今年のデータ、7月23日以降は平年値)をもとに、有効積算で今後の発育ステージを予測した。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(°C)
成虫	125	12
卵	135	11.4
幼虫	250	6.5

熊本県病害虫防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所
病害虫研究室 予察指導係)
担当：坂本、作本 TEL 096-248-6490



本注意報は、病害虫防除所ホームページに掲載しています。

「<http://www.jpnpn.ne.jp/kumamoto/>」